

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経済学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究科博士課程前期課程開講科目の優秀で意欲ある学部生への開放と研究科への進学数の増加をめざす。また、高度専門職に就く博士課程前期課程修了者数の増加をめざす。	→高度専門職(民間企業調査管理部門、公務員専門職、税理士等)に就く博士前期課程修了者数。	B	B			
2. 休暇中の集中講義を充実し、国内外から気鋭の外部講師招聘により研究科の講義・演習内容の向上を図る。	→学外研究者講師による集中講義開講数と履修者数。	B	B			
3. 留学生向けの授業科目を充実させる。	→外国人留学生受講対象科目開講数。	C	C			
4. 英語による授業科目を増やす。	→英語による授業科目開講数。	D	D			
5. 大学院生による授業評価の実施とその結果を公表する。	→大学院生による授業評価の実施回数と回答者数。	A	A			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。 (方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない (学位授与方針)
	(説明) 明確な学位授与方針の文言は検討中であるが、後期課程生においては、「博士学位取得プロセス」を明記し、プロセスを経た者に学位を授与する旨記載している。前期課程生では、研究者養成(後期課程進学)だけではなく高度専門職業人養成という社会的要請にも応える旨、記載されている。教育目標に基づいたプログラムを経済学各分野別に明示している。特にエコノミスト・コースでは、ニーズに合ったコースの選択ができるように、概要とともに学ぶポイントも記述した。(履修心得:次年度より入学希望者にも配付する)
★ 小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。 (方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない (教育課程の編成・実施方針) 明確な編成方針の文言は検討中である。
	(説明) 教育目標に基づいたプログラムを経済学各分野別に明示している。エコノミスト・コースでは、履修心得にて各プログラム別の概要、学ぶポイント(思考力の訓練、分析能力の開発、構想力の練磨)を明示している。また一般では、ベースとなるコア科目の説明、意義、勉強方法についてホームページに記載、周知している。
小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。 (周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない
	(説明) 大学構成員(教職員および学生等)には周知されているが、HPなどを通じ、社会に公表するには、工夫が必要である。(学部HPは改善してきたが、研究科HPの改善はこれからである)
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。 (検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない
	修士修了者12名(含エコノミスト4名)のうち9名(うち在学中勤務継続者5名)が就職し、専門サービス業(税理士事務所)は3名であった。
その他	

《評価指標データ》

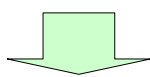
カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
必修・選択ごとの開設授業科目数
系列別卒業必要単位数

★ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3	学位授与方針を再検討し周知させる。	
小項目6.1.4		
その他		

↓

《次年度に向けた方策(2)》改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3	作成した学位授与方針をHP上に掲載する。	
小項目6.1.4		
その他		

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○学位授与方針を早急に策定して公表する必要があります。
○「目標」3,4は、中項目6.2や6.3にかかわるところが大きいものですが、進捗状況が芳しくないので、学位授与方針のもと、積極的な検討が望まれます。

【学内委員】

○学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の確定と成文化への努力が望まれます。
○小項目6.1.1で、「明確な学位授与方針の文言は検討中」とありますが、2010年度も同様に「学位授与方針」自体の記述がなく、学内委員のそれに対するコメントがあるので、改善が期待されます。2009年度に設定した目標「4. 英語による授業科目を増やす。」は評価D、同じく「5. 大学院生による授業評価の実施とその結果を公表する。」は評価Aです。しかし、それぞれ「改善すべき事項」欄と「効果が上がっている事項」欄に関連する記述がないので、記述することが期待されます。
○各種取り組みが進行中です。着実に進捗し、達成、実現されことを期待します。なお、本項目に設定された目標は他項目<学生の受け入れ、教育課程・教育内容、教育方法などでの目標が適切ではないでしょうか。ここでは、学位授与方針の(再)策定、教育目標の(再)策定、ホームページの刷新などといった目標になるかと思えます。、
○小項目6.1.4の記述内容は、「6.4 成果」での内容でしょうか。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.1.1
基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」
達成度評価：なし

○小項目6.1.2
基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」
達成度評価：なし

○小項目6.1.3
基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」
達成度評価：なし

○小項目6.1.4
基盤評価：なし
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★(小項目6.1.4の記述修正) 修士修了者の専門的知識を活かした就職の実績を含め、大学院教育部会等での定期的な検証を行っている。